

平成26年（2014年）広島市北部の土石流災害



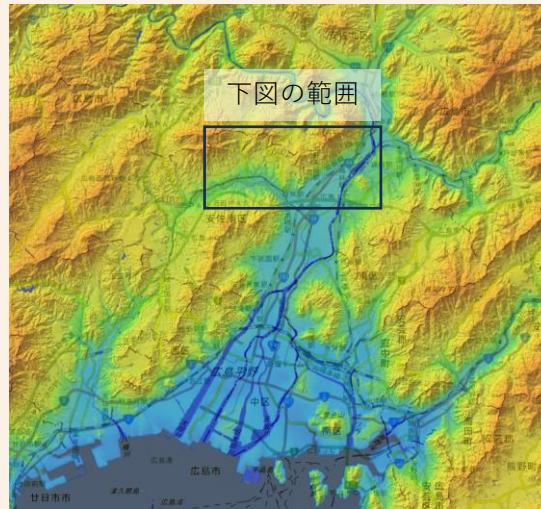
災害の概要

平成26（2014）年8月，広島市北部で線状降水帯により記録的な集中豪雨となったことから多数の土石流が発生し，山のふもとの住宅地に大きな被害をもたらしました。

土石流と地形条件

この地域の扇状地は，過去に繰り返して発生した土石流で土砂が堆積してできた緩傾斜地です。

（地理院地図）



山のふもととはどんな地形になっているかな。

自然災害伝承碑を見ると，昔から土石流が繰り返されてきたところだということがわかるね。



2014年に斜面が崩壊し，その土石が土石流となって流下・堆積したところ

扇状地

扇状地

（地理院地図を3D表現）

地理院地図で見る地形条件と自然災害伝承碑（土砂災害）の分布

自然災害伝承碑の対象となった災害

1916年の土砂災害 1928年の土砂災害 2014年の土砂災害
この地域では，2014年以前にも扇状地で土砂災害があったことがわかります。



災害直後の空中写真（地理院地図を3D表現）

広島市周辺の土石流災害史

繰り返される土石流災害

広島市、呉市やその周辺地域では、これまでたびたび土石流災害が発生してきました。下の図の範囲では、1907年から2018年までの15回の土砂災害が自然災害伝承碑に記されています。

地理院地図で見る自然災害伝承碑（土砂災害）の分布

自然災害伝承碑から災害の歴史を学ぶことも大事だね。



伴安水災復興碑
災害名：洪水、土石流
(1928年6月24日)



水害之碑
災害名：洪水、土石流
(1916年9月6日)



忘れまい大災害
災害名：土石流
(1999年6月29日)



紅葉谷川枕崎台風災害記念碑
災害名：枕崎台風
(1945年9月17日)



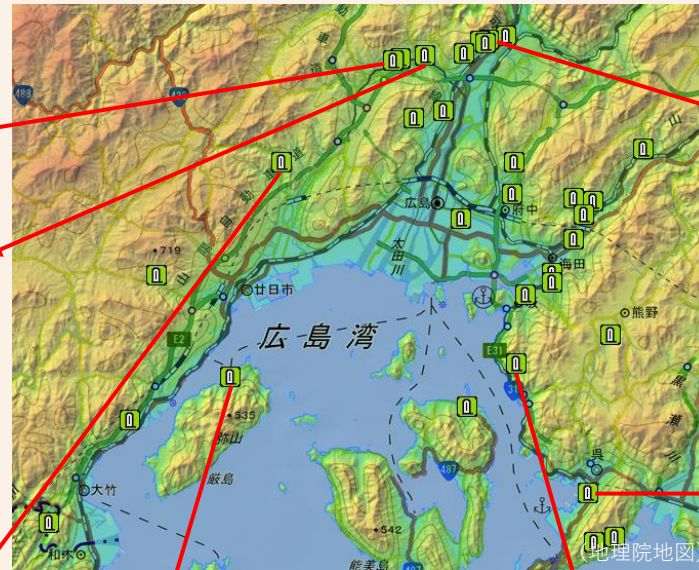
坂町水害碑
災害名：平成30年7月豪雨
(2018年7月6日)



**広島土砂災害
忘れまい8・20**
災害名：平成26年8月豪雨
(2014年8月20日)



慰霊碑
災害名：枕崎台風
(1945年9月17日)
昭和42年7月豪雨
(1967年7月9日)



平成11年6月豪雨の災害は、土砂災害防止法制定のきっかけとなりました。

昭和20年9月の枕崎台風は、広い範囲で土砂災害が発生しました。厳島の紅葉谷公園では、復旧で作られた庭園砂防施設が国の重要文化財に指定されています。

平成30年7月豪雨の災害は、国土地理院が自然災害伝承碑を地図に表示するきっかけとなりました。

昭和42年7月豪雨の災害は、急傾斜地法制定のきっかけとなりました。